

政務調査・要望対応

- 4日 JA秋田しんせい訪問・スマホ講座 PR活動・ジオサイト視察
- 5日 スマホ講座PR活動
- 6日 県民要望への対応活動(鳥海町大栗沢・高比良地区)現地確認
 - 経緯・経過
 - 3月30日 県民要望 高比良防災基地へ至る市道維持
 - 4月10日 県施設あり県へも要請
 - 4月19日 市議と市役所支所へ対応要請(四川地区含む)
 - 結果
 - 市により対応
- 9日 県民要望現地確認(笹子四川地区)道徳教育研究会等への協力要請提案事項案に対する県議意見提出のための県民意見聴取(石沢保育園)
- 11日 ウェルビーいずみ子ども園訪問 高校教育課長から聞き取り・総合政策課幼保推進課/農林政策課へ予算案に対する提案・要望への意見提出

- 12日 県からの要望への対応活動(笹子四川地区)・由利本荘市東由利総合支所 訪問
- 13日 県民の声を聴く活動(本荘地区)ものづくり人材育成を子ども時代から道徳教育の推進についての市教育長への要請
- 15日 榊先生(vol.13参照)と由利本荘市こどもプラザあおぞら視察・脳科学が教える!子どもたちへのスマホ等の影響と正しい使い方講座(由利本荘市)(由利地区小学4年生ほか約20名参加)
- 17日 木のおもちゃ館視察・脳科学が教える!子どもたちへのスマホ等の影響と使い方講座(県議会議員や県職員 約20名)
- 20日 東海大ラグビー部関係者を真坂味噌店様へご紹介(180人寮生用給食材料商談)

- 21日 秋田県看護協会・秋田県看護連盟 共催による研修会
- 25日 いきいきインターバル速歩協会総会 本荘由利テクノネットワーク総会
- 26日 鳥海山矢島口山開き・西目地区活動報告会

行事

- 5日 県立大学入学式
- 6日 矢島高校を応援する会総会
- 29日 本荘招魂社例祭(慰霊祭)・三ツ方森の山焼きを語る有志の会

写真 4/16 脳科学が教える!子どもたちへのスマホ等の影響と正しい使い方講座(榊先生)



小野一彦

「コマネズミ」の如く行動し思いを形にする!!

Vol.14

第14号 令和6年7月発行 発行:小野一彦 秋田県由利本荘市上大野85-1 TEL.0184-74-6736/FAX.0184-74-6737 秋田県議会議員 小野一彦 検索 https://ono.akita.jp/



○声をあげよう!みんなで地域をつくろう!
 小野一彦です。7月15日に市内で「フォーラム」が開催され、次の意見が出されました。「ある問題について行政に相談に行ったら、うちではありません。と言われた。合併前は町長はじめ、様々なリーダーが地域の問題を全て受け止めて行動した。今、そういう地域のリーダーが少なくなった。」
 皆さん、地域のリーダーが少ないのであれば、みんなで得意な技を持ち寄り、「共同リーダー」になりましょう!合併したからといって各地域の魅力や将来づくりがなくなるべきではありません。
 さあ、声を上げよう!あなたの地域をみんなで力を合わせてもっと良くしよう!そうしたあなたと一緒に、コマネズミ活動を行います。そんな思いをこめて、7月5日可決予算等活動報告をいたします。

政務調査・要望対応

- 1日 県民からの要望への対応活動(松ヶ崎地区)
 - 要望内容
 - ・衣川河口付近民家に国道排水管つまりのため雨水流入あり
 - ・護岸の草刈り、河川敷ゴミ処理
 - 小野対応経過
 - 6日 現地要望者と現地確認
 - 7日 振興局建設部、由利本荘市合同調査→国への対応依頼
 - 結果
 - 排水管つまり対策実施済み
 - 草刈り実施済み・ゴミ処理実施方向
- 3日 孤立孤独対策の実践現場に参加(ふらっと)
- 6日 職業訓練スクール訪問。ひきこもり支援ネットワークについて意見交換 県道冬師西目線視察・県民要望対応
- 7日 災害時被災車両レッカー移動連携協定について聞き取り・市役所から県に要望があった箇所調査(西目地区・本荘地区)

- 8日 西目地区漁業者の方々からご要望あり
 - 陳情書お受けしました。(西目漁港)・若い世代が夢を持ち漁業を引き継ぐことができるような環境整備、振興対策、漁業と風力等との共生対策を望む
 - 要望受け取り後の小野一彦取り組み経過
 - 10日 県庁関係各課から対応策聞き取り
 - 20日 次世代と一緒に取り組む漁業振興ビジョンに関する官民対話(出戸交流センター)
 - 21日 東京料理業組合産直交流システム商社打ち合わせ(漁業関連)
- 9日 県民要望への対応活動・新仙岩トンネル整備促進大会
- 12日 自衛隊家族会東由利分会総会
- 13日 秋田県理容生活衛生同業組合総会出席
- 15日 要望箇所現地調査(鳥海・矢島・由利・東由利地区)・市内商業者の方と商業ビジョンに関する意見交換・要望箇所実施現場確認と要望者訪問(本荘駅前)
- 16日 自治会要望箇所聞き取り(大内地区)・振興局建設部へ要請・令和の城下町矢島を創造する会総会研修会、交流会

- 17日 要望箇所現地調査(岩城・大内地区) 商工会総代会
- 18日 手をつなぐ育成会本荘支部総会
- 20日 全国介護事業者連盟秋田支部、自民党会派意見交換会・会派議員総会
- 24日 県民要望への対応活動(由利地区)・本荘追分銅像を清掃(ロータリークラブ)石脇北保育園訪問(スマホ講座の要望)
- 25日 アキタコアベース開設からの取り組み状況等聞き取り(看護介護職にUターン戦略等について等)
- 27日 県民からの要望への対応結果報告(松ヶ崎地区)・県民からの要望への対応(由利総合支所)

行事

- 12日 第20回矢島茶会
- 19日 笹子山菜祭り・秋田県飲食業生活衛生同業組合総会懇親会
- 26日 第62回東京東由利会総会懇親会

小中高生のみなさんへ 夏休みの自由研究にどうですか? 未来へ伝えたい秋田のインフラ50選

県では、小中学生や保護者等に、県内各地の代表的なインフラ資産(ダム、橋梁、トンネル、農業施設、公的建築物等)を広くPRし、建設産業への理解を深めることにより、将来的な入職者の拡大につなげることを目的に「未来へ伝えたい秋田のインフラ50選」を選定し、新たに動画も公開されました!

さて、ここでクイズです。
 ① 28番郷内発電所はどこにあるかな? ② いつ着工されましたか? ③ 一番の特徴といわれる巨大な調圧水槽は何メートルありますか? 初代ウルトラマンの身長より高いかな?
 答えは下の動画にあるぜ!こんな大きなものを作った建設産業の方々はずごいな!

26 由利本荘市 旧鮎川小学校

27 由利本荘市 由利高原鉄道鳥海山ろく線

28 由利本荘市 郷内発電所

29 にかほ市 由利海岸波除石垣

30 にかほ市 上郷温水路群

6月補正予算 令和6年7月5日 補正額 34億5,127万円 補正後の規模 5,876億8,527万円

おすすめ事業ご紹介

- 新 電子処方箋活用・普及促進事業**... 県民に対する医療サービスの向上を図るため、保険医療機関等(病院、診療所(歯科を含む)、薬局)に対し、電子処方箋管理サービスの導入に係る費用の一部を助成します。
- ツキノワグマ被害防止総合対策事業**... 4月以降、クマの目撃や人身被害が相次いでいることから、緊急的な対策を実施します。
- 拡充 担い手確保・育成事業**... 銃器等の価格が高騰していることから、クマ捕獲従事者の負担軽減を図り、クマ被害防止の担い手を確保するため、銃器等の購入支援を拡充する。
- 新 ツキノワグマ出没抑制緊急対策事業**... 人の生活圏へのクマの出没を抑制し人身被害を防止するため、緩衝帯のやぶ化した原野や河川敷等の刈り払いや放任果樹の伐採をし、緊急的な出没抑制対策を実施する。
- 新 ツキノワグマ注意喚起緊急広報事業**... クマによる人身被害を防止するため、県民に対し「新聞・テレビ・ラジオ等」で注意喚起を行います。

CHECK!! 前回の活動報告(vol.13)で報告した、2月定例県議会で可決された事業「ツキノワグマ等情報マップシステム[クマダス]」がついに始動しました!
 メールアドレスを登録することで、スマホでリアルタイムな熊の出没情報を知ることができるようになります! [クマダス]

CHECK!! その他にもこんな事業計画があります!
第八次秋田県高等学校総合整備計画(素案)とは...
 令和8年度~令和17年度の10年間で、県内高等学校総合整備計画です。少子化により定員割れをしている高校に対し、前期期間中に地域と協議を行い、後期計画で具体的な統合等再編整備構想案を示し、総合整備を進めていきます。

説明及び意見交換会
 高等学校の統合等再編整備構想案に関する
 ・矢島地区 8/27(火)18:00~20:00 矢島コミュニティセンター日新館(市民ホール)
 ・本荘地区 9/3(火)18:00~20:00 文化交流館「カダーレ」(自然科学学習室2)
 ・西目地区 9/4(水)18:00~20:00 西目公民館「シーガル」(講堂(ホール))
 その他会場や詳細はこちら↑
 問い合わせ先 018-860-5163 秋田県教育庁高校教育課 高校改革推進チーム

新 新県立体育館整備・運営事業... 新県立体育館の令和10年秋の開館に向け、PFI手法による事業者の選定に着手する。
PFI手法とは... 公共事業を実施するための手法の一つです。民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。

整備費:254億3,564万円 期間:令和7年度~令和25年度(19年間)
 PFI手法により通常の整備手法よりも約8億円削減が見込まれる。また来客による直接の効果として年間約32億円、1次2次波及効果を含めて年間約47億円を見込んでいます。

県民からの要望への対応～通園・通学路の改善

～社会の宝、子どもたちの安全を願う保護者の気持ちに「優先順位」はありません～

令和5年10月21日(土) 矢島地区の方からの要望 (県道仁賀保矢島館合線/長泥橋)

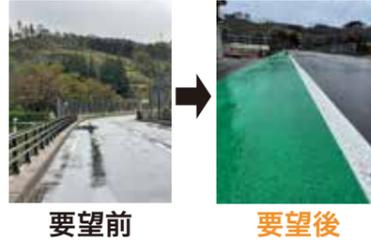
小学校が付近に移転することにより、こどもたちが橋を渡り通学することが想定されるが、橋の路肩が狭く危険である。対策を要望する。

小野の対応 令和5年10月23日(月)

・由利地域振興局建設部、由利本荘市役所矢島総合支所に連絡し、10月26日に現地協議。

令和6年3月29日 路肩拡幅工事完了・現地確認

・県振興局から橋の路肩を0.5mから1.5mにし、グリーンベルトを設置し安全を確保するとの報告あり、3月29日に要望者の方と現地確認。



要望前 要望後

令和6年1月23日(火) 民生児童委員の方からの要望 (本荘地区/キリスト教会本荘幼稚園前)

幼稚園前の横断歩道及びその隣接部分に沈下部分がある。雨が降れば水たまりが出来、そこを通行する自動車の水を跳ね上げ、横断歩道を渡ろうとしている園児や幼稚園舎に入ろうとする園児に水が掛かり、濡れてしまう。そのため子どもたちは横断歩道を避けて通ろうとするので危険である…といった要望が保護者や幼稚園の先生からあった。



要望前

小野の対応 翌日 令和6年1月24日(水)

・由利本荘市建設管理課、由利本荘警察署へ要望内容・箇所・経緯を伝え、幼稚園児の安全にかかることであり両部署で協議の上、対応してほしいと要請。

令和6年5月 要望者から水たまり箇所舗装、横断歩道舗装のご報告あり現地確認

公約実現のための活動～農業への取り組み

肥料・堆肥対策や水田活用交付金を生かす土地利用、そば振興、畜産振興対策など、様々な取り組みの一方で、令和4年7月4日 由利町会合にて米農家の方から貴重なご意見を頂きました。

水田の耕作を増やし青色申告も行い、収入保険にも入っている。九町歩まで水田は増やしたが70歳を過ぎてもう限界だ。米の値段は低迷、経費は上がる。今の歴史的な円安を生かし思い切った輸出の拡大などで農産物を海外に売り外貨を稼ぎ、我々現場の農家の収入が上がるような、希望を持てる政策を進めるべきだ。

令和4年9月21日の一般質問でも取上げたご意見です。このお言葉が今回の調査活動のきっかけとなりました。その後、県内でも輸出への様々な動きがありました。

- ・令和5年3月中旬 秋田県知事 台湾へのトップセールスへ
富裕層向けの高級スーパー、大手飲食店チェーン会社、食品輸入会社の関係者から「秋田の県産品を高くてもいいから台湾で売りたい」と要請があった。
- ・令和5年10月20日(火)～
秋田-台湾チャーター便の運行開始

なぜ輸出なのか?

国内市場は、人口減少に伴い縮小していくことから、輸出によって農家の収入向上へとつなげる必要があります。そのために、本年5月に成立した改正食料・農業・農村基本法では、食料安全保障を柱に、増大する海外需要に対応し、農業者や食品事業者の収益性の向上に資する輸出の促進が重要である旨が位置づけられました。

なぜ台湾なのか?

台湾はアメリカに次ぐ第4位の有望な輸出国であり、日本国内の台湾向け農林水産物・食品の輸出総額は右肩上がりです。

事前調査 令和6年1月23日(火)・令和6年5月8日(水)

●三菱商事秋田支店様へ取引先のご紹介を依頼
輸出の足掛かりとして三菱商事様へ取引先のご紹介を依頼し、台湾の米専門会社「楽米(らくまい)」様をご紹介頂きました。台湾三菱商事様との打ち合わせで、サキホコレのニーズがあるとのことで、後日県庁関係課、JA秋田しんせい様それぞれと台湾訪問時の対応を相談させて頂きました。

調査活動 令和6年5月30日(木)～6月2日(日)

- 5月31日(金) 訪問 JA全農台湾、JFC(キッコーマン傘下)、三菱商事台湾事務所、楽米
- 6月1日(土) 訪問 詩の国秋田、上寛有限公司

三菱商事、JA秋田しんせい、県庁を通じた詩の国秋田、全農インターナショナル様などのご協力をいただき、令和6年5月30日～6月2日の日程で台北市及び桃園市にある6社を訪問し、「台湾の方々はどんな食材や商品が好きか。秋田のコメへの評価と取引可能性」について直接意見交換をして参りました。

●台湾における日本産品のニーズ・購買力

日本と歴史・文化的にも近い台湾では、多くの日本の農産物・食品が消費され、ニーズが高まっている。日本に好意的な人が多く、日本産品への購買力が高い。中でも米や農産物加工品や和牛といったものが、多少値段が高くても買われる傾向にある。

料理と食材…台湾の方々には鍋料理が好き。由利本荘市の農家や事業者が生産に取り組んでいるきりたんぼ鍋と比内鶏が大好きとお声を、知り合った台湾の複数の方々からお聴きました。

お米…秋田県産あきたこまちは外食産業へのニーズが高い。
日本産米と台湾産米を比較して、消費者の40%が日本産米を選ぶ傾向にある。
台湾の人はお米の食感にこだわる。秋田県のサキホコレは非常にモチモチ食感があって良い。

青果…りんごが人気がある。いちご、ナシ、シャインマスカットなども好まれる。
シャインマスカットはJA秋田しんせい様と詩の国秋田様が連携し試験販売されたそうです。一房5,000円以上で売れ、大好評とのこと。

加工品…台湾の高級スーパーで青果の関連商品としてゼリーやジュース類なども販売している。特にトマトジュースは健康志向のお客様に支持されている。
秋田のリンゴジュースが台湾人に好まれているため多く販売されている。
秋田県産品(いぶりがっこ、じゅんさい、きりたんぼ、稲庭うどん)の卸会社がいた時は料理動画を活用し、売れ行きが伸びていった。

楽米様から令和6年産の「サキホコレ」を購買したいとお申し出を頂きました！
秋田のお米が逆指名されたのは想定外の良い成果だった。

帰国後の活動 令和6年6月5日、7日

サキホコレの取引要望があったことを県庁関係課に伝えるとともに、JA秋田しんせい組合長に報告いたしました。後日、県庁秋田米ブランド推進室・県議・三菱商事様・ミツハシライス様でオンライン打ち合わせを行いました。取引や商流での問題点もなく、商談を進めることとなりました。

この調査結果を元に、6月議会の総括審査質問を行いました。

令和6年7月2日 6月議会 令和6年第1回定例会 予算特別委員会 総括審査

台湾に対する農産物及び加工品の販路拡大について

県内の農家・加工品業者さんから輸出に向けての支援や要望がたくさんあったことから、台湾での市場調査を行って参りました。台湾では日本の農産物や加工品のニーズが非常に高まっている現状があった。そこで、県の秋田県産米(サキホコレ等)や青果、加工品等の輸出の展開や現状、今後の戦略について伺いたい。

県の答弁(農林水産部長)
・秋田県産米(サキホコレ)について…現在サキホコレは、国内需要に応える範囲の面積でやっている。面積を拡大していく中で、その先に輸出という大きな販売ルートになると考える。今、台湾の方に、テスト販売という形で一部行っているが、まずは台湾の方々にサキホコレを認知していただくことが大事だと考えており、商品のPRや認知度を高めるイベント等の取り組みを進めて参りたいと考えている。
・青果(りんご)について…海外輸出で大きい課題は検疫である。どういったものが残留農薬になっているのか、そういった検査も必要になってくる。特にリンゴ果樹類の検査が一番厳しい為、台湾で検出されない防除体系を取るべく鹿角果樹センターで秋田のオリジナル品種「秋田紅あかり」での実習も行った。そして現在、北秋田地域において、秋田紅あかりを台湾へ輸出しているという実態がある。こういった取り組みが、輸出の拡大に繋がっていくものと考えられる。ただ、台湾へのりんごの輸出量は青森県産が多い。青森ではCA貯蔵という大規模な施設があるが、秋田県ではまだ施設に投資するに至っていない。輸出において「日持ち」が重要である為、できるだけ長期保存をし、長く出荷出来る体系が大切だと考える。

- 令和6年7月25日(木) JA全農あきた 米穀部との情報交換
- 令和6年7月30日(火) JA全農あきた 消費地販売事務所との情報交換
- 令和6年7月31日(水) 農水省大臣官房輸出促進審議官、三菱商事農産酪農部、ミツハシライス様との情報交換

楽米上層部の方を種苗交換会にお招きし、県米生産者や、生産者団体との交流や意見交換会を開催し、輸出に関わる事業者をメンバーとする「秋田-台湾チャーター便を生かした農産物輸出入コミュニティづくり」に取り組むこととしております。